

平成26年度 第1回 図書館協議会会議録

日時 平成26年6月24日(火) 14:00から15:00

場所 松原市役所 803会議室

出席者 図書館協議会委員

中村勝成委員、浦野迪子委員、葛城栄枝委員、砂山雅江委員

内田展子委員、難波愛子委員、加藤孜子委員

事務局 森田館長、手束参事、三浦係長

議題1. 電子書籍の利用開始について

<事務局より説明>

7月1日より電子書籍サービスを開始する。キャッチフレーズはいつでもどこでも好きな時に読書。自宅のパソコンやタブレット端末などからインターネットを通じていつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができるというサービス。市内在住・在勤・在学の人で図書館の利用登録をしている人はパソコンなどの環境が整っていれば利用できる。文字を大きくしたりするなど電子書籍ならではの便利な機能もある。サービス利用についてはID番号(図書利用カードの番号7ケタ)とパスワードが必要。広報7月号とホームページで案内を予定している。7月18日(金)市役所1階ロビーで、19日(土)松原図書館玄関ロビーで10時から正午と午後1時から4時にパネルとタブレット数台でPRイベントの予定。

<質疑応答>

○(砂山委員) 電子書籍にはどのような本があるのか。

○(手束参事) 当初3,377点の蔵書。文学的なもの約300点、ハウトゥーもの約3,000点。児童書については今後増やしていこうと考えている。システムが4月からバージョンアップしたものでそれに合わせたコンテンツが今後増設されていくはずなので、その都度蔵書を増やしていく予定。

○(砂山委員) 図書館で貸し出しを開始する意義はあるのか。

○(手束参事) 図書の貸し出しが人を介さないのて夜遅くても借りたい本が電子書籍の中に入っていれば借りて読むことができる。図書館をなかなか利用できない人が利用できる。文字を拡大する機能があるし、将来的には音声機能も活用していきたいと考えている

○(砂山委員) これをすることによって蔵書が減っていくのか。

○(手束参事) 電子は電子としての機能があるので、普通の本の予算を削減していくことは考えていない。

○(砂山委員) いきなり始まったのは、どういうわけなのか。

○(内田委員) 視覚障害者のために録音図書とか音声に変更することをしている立場からすると、音声が出てくるなら利用者も助かるし、文字サイズも大きくなるのは弱視などの方は喜ばれるんじゃないかなと思う。

○(手束参事) 音声機能はスタート時点はないが、今後そういう機能で読める本の冊数が増えてくればそういう方々にとって便利な機能だと考えている。

議題2. 松原図書館集会室の使用について

<事務局より説明>

松原図書館集会室を小中学校の長期休み期間について自習室として開放していく。今年度の夏休

みについては7月19日が土曜日にあたるので7月19日がスタートになる。開館時間に自習室として使用するので平日は10時から19時。土・日曜日は10時から17時半。1階カウンターで氏名住所を書いていただいて受付、利用の許可ということにする。休館日（月曜日・第3木曜日）は行わない。8月26日は当初予定していた行事があるため、自習室使用はしない。

<質疑応答>

- （浦野委員）何人ぐらい利用できるのか、時間制限はあるのか。
- （手束参事）70～80人ぐらい、時間の制限は設けていない。
- （葛城会長）広報するのか。
- （手束参事）広報に掲載している、小中学校には正式な案内はしていない。1階で勉強している子どもたちには案内をしていきたいと考えている。
- （中村委員）監督する人はつくのか。
- （手束参事）ときどき巡回しないといけないとは思いますが、張り付くことは考えていない。利用の前に騒がないなどの注意喚起はしていきたい。
- （砂山委員）前は、図書館の夏休みお楽しみ会のための練習などで借りたりしていたが、それはもう全然できなくなるのか。
- （手束参事）今年度の年度当初に自習室として開放するということになっていたので、利用状況等勘案して今後どうしていくか検討したい。

議題3. 新町図書館及び松原南図書館の耐震診断調査の実施について（報告）

<事務局より説明>

新町図書館及び松原南図書館の耐震診断調査を実施する。耐震基準旧基準の時代に建てられた建物なので、7月7日新町図書館、7月17日松原南図書館の耐震調査を行うということになっている。

<質疑応答>

- （内田委員）そのほかの館は耐震大丈夫なのか。
- （手束参事）耐震基準を満たしてる時代に建っているときいている。調査を実施する必要がないと。
- （浦野委員）耐震調査をした結果何らかの工事が始まるのか。
- （手束参事）まだ新年度の予算が確定していない段階なのではっきりしたことはいえないが、調査を踏まえてなんらかの検討をしていくことになる。
- （浦野委員）診断の予算だけは取ってあったということですね。
- （手束参事）診断しないことには方向性がみえないので、まず診断の予算を取った。結果を踏まえて今後検討していくことになる。

議題4. その他

- （砂山委員）検討委員会の答申を踏まえて図書館の今後はどうなっていくのか、また、答申の中に電子書籍の言葉も出てきてなかったのになぜ突然電子書籍が出てきたのか。
- （手束参事）答申については何らかの方向性を出していくのが我々の仕事だと思うが、今ここで応えられる段階ではないので、一定の方向性が出た段階でお伝えする形になると思う。電子書籍については検討委員会では出ていなかったが、利便性という面で予算化されていったと聞いている。

市全体の業務としてそのような議論があって予算化されたものを我々が実施していくということで、ご理解いただきたい。

○（浦野委員）以前の協議会で他市では電子書籍が進んでいるというのは話題に上っていたが、それをすすめようとはなっていなかったということだと思う。

○（砂山委員）インターネット予約とかそういう機能を進めていく方向に行くのかなと思っていた。

○（葛城会長）インターネット予約についてはどうなっているのか。

○（手束参事）システムの問題なのでそちらの予算化は図っていきたいと考えている。担当としての思いで発言してしまったが決定事項ではないので、担当としては努力をしたいということ。

○（森田館長）その部分については議会での予算の承認が必要で、それが可決されないことには我々も動けないので、努力したいというところでとどめさせていただきたい。

○（葛城会長）職員が減っている今の図書館の状況では、私たち市民と図書館が一緒に活動してきた、それを継続していくのが難しくなってる。

○（手束参事）職員については長い間採用がなく、また図書館だけではなく市全体の業務としての見直しが図られているということ。一緒にやっていく部分で協議する時間がとれなくなってしまっている現状をご指摘されてると思うが、一緒にやっていく事業については今後も継続してやっていきたい。

○（難波委員）小学校との連携とかは考えているのか。小学生が本に親しめるように図書館から発信してるとか、図書館に来てもらって子どもたちに説明とか。

○（手束参事）例年小学校3年生の図書館見学はあるので、説明は継続的にはやっている。小学校との連携については学校の校長会などでも議題にのぼってくるように話していかないといけない。

○（葛城会長）学校図書館ボランティアとの連携はどうなっているか。

○（手束参事）この前絵本とおはなしの講座で、天美西小のボランティアの方が葛城さんの講演会受講されてたが、そういうかたちで広がっていくことによって連携が図れるのも一つかなと思う。

○（葛城会長）講演会ではボランティアというのは主体性をもってやらなければいけないというお話をしたが、そういう方は図書館と一緒にやってる事業に参加していただけたらと思う。

○（中村委員）恵我南小では、去年、松原図書館の司書の方が延べ10日間ぐらい来て学校図書館の整備をやっていただいて、分類をきちんとしてわかりやすいかたちになって子どもたちも使いやすくなった。図書館ボランティアについては、今年から、PTAのおかあさんがたに昼間と放課後の時間帯とに来ていただいて、貸し出しなどやっていただいている。

○（葛城会長）図書館のほうには先生からお願いしたのか。

○（中村委員）図書館から手を差し伸べていただいた。

○（三浦係長）図書館の職員の中の学校との連携の担当者が、学校に対してどんなことができるかいろいろ考えた中で、学校の図書館の整備のお手伝いはどうかということになって、何校かに声をかけた結果恵我南小学校へ行くことになった。担当の中では今年度別の学校にそれを続けていくか、何かほかの形で学校に対してのお手伝いを考えるのか、今検討中だと思う。

○（葛城会長）いいことだと思うのに、そういうことは私たちには全然見えていない。私も松原南小学校で学校図書館の整備をしたことがあるが、私たち専門じゃないのですごく使いやすくなったとはいえない。そういうシステムがあるなら学校図書館が充実したものになるのじゃないか。公立図書館と学校図書館との連携は大事なことだと思う。

○（加藤委員）子供関係の、学校とか幼稚園との連携も大事だと思う。松原西小では子どもたちが

独自の分類をしていた。自分たちが分類しているから自分たちで片づけられる、図書館の分類法だけが正しいんじゃない、図書館に携わってる先生の分類法も大事。もう少し子どもを信用してできたらいいなって思う。

自習室については、だれをターゲットにするかとか考えなければいけない。70～80人はいるところで10人もいないという市民の声が聞こえてはいけない。データを取る必要がある。

○（手束参事）利用状況の把握のために、フリーで入ってもらうのではなく1階のカウンターで受け付けてからと考えている。小学校、中学校、高校、それ以外ということがわかるような申請書を出してもらい統計を取り、来年度以降どうしていくかという材料にしたい。

○（葛城会長）広報に載せるんですよ、市民の皆さんに。

○（手束参事）広報には載せる。自習室として開放しますというような内容で、7月広報とかホームページにはお知らせとしてでは載せていく。

○（加藤委員）その次が私たちの年代、高齢者の問題。

○（葛城会長）滞在型ですね。開館前からたくさん並んでありますよね。

○（三浦係長）お年を召した方の利用というのは増えてきているので、一般の本の選書の時にも、そういうことは考慮に入れているし、いろんな分野について、高齢の方が増えてきているということは頭において進めている。

○（加藤委員）図書館8館もいるのかということについていつも言っている、ターゲットをどこに絞るかというところをきちんとしたら8館もいらないと思う。

○（葛城会長）8館いるのかどうかというのは、検討委員会の中で話し合われて、前の協議会の時にどうなるかなみたいな話は館長もしていたと思う。

昔市民活動の中ですぐ近くにあればいいなということで図書館ができていったが、社会状況のなかで8館がいるのかどうかということで検討委員会、図書館協議会の中でもう何回もお話しされてきて、その結果はきっと私たち市民に反映されるかなと思う。

ところで、活動報告は今年はどうなっているのか。

○（三浦係長）今作成中。毎年、7月か8月ぐらいを目指して作っている。

○（葛城会長）完成してみせていただいたら、今の図書館の状況がどうなっているかもわかると思う。じゃ、質問がなければ終わりにしたいと思います。ここで出た意見、ぜひ図書館のほうでもとりあげていただいて、次の協議会の時にでもお話できたらなと思っていますので、よろしく願いいたします。